

## 研究課題 1 中課題 1 「沖合・沿岸海洋環境情報統合システムの実証研究」の研究状況が「リエゾン I マatchingフェア 2015」で紹介されました。

11月4日、岩手大学復興祈念銀河ホールで「いわて産学官連携フォーラムリエゾン I マatchingフェア 2015 & JST復興促進センター盛岡事務所成果報告会」が開催され、関係者約200名が参加しました。「リエゾン I」は、岩手県内の研究機関や大学、高専、金融機関による産学官金連携組織で、新事業創出や地域産業の活性化を目指して、研究機関のシーズと企業のニーズをマatchingさせるためのイベントを毎年開催しています。

リエゾン I に参画している岩手県水産技術センターから、漁業資源部 児玉琢哉専門研究員が「岩手県海域における将来予測モデルの開発」と題し、先端技術展開事業による海洋環境予測の研究状況について、パネル展示とショートプレゼンテーションを行いました。参加者からは、予測モデルに採用しているパラメーターやワカメ養殖と環境要因の関係についての質問があり、大きな関心が寄せられました。

今後もこのような場を通じ、一般の方にも研究成果を普及し、その利用促進を図っていきます。

